

平成 30 年度 FD 実施計画書

研究科・学部・学科	流通科学研究科
FD 取り組みへの理念・目標 流通科学研究科で修士号を取得した者についての「質の保証」という点で「修士（流通科学）」にふさわしい人材を育成することを理念として、それを達成するための教員の教育研究および研究科としての教育内容の充実が目標である。ただし、両方とも学部との連関があるため、学部との連携で FD を実施することが流通科学研究科の FD の基本と考える。	
回数、期間、実施日等	実施事項・内容、実施組織、評価項目等
第 1 回 (5 月 9 日)	大学院の将来構想について 現在流通科学研究科の定員は 10 名である。近年その定員枠を割り込むという状況が続いている。また、入学者に占める留学生の割合が高い。これらの状況は本学だけではないが、何らかの措置を講ずるべきである。したがって 30 年度は、このテーマに絞って実施していきたい。 初回は、テーマ設定の理由から今後の目指す方向性を見据えたたたき台を、研究科長が問題提起をし、質疑応答を行う。
第 2 回 (7 月 4 日)	大学院のカリキュラムの充実について 第 1 回で流通科学研究科が目指す方向性を確定する予定である。したがって、第 2 回目は、その目標に従ったカリキュラムについて議論を行う。
第 3 回 (11 月 7 日)	大学院の学生確保について 前述の通り、定員確保が難しい現状において、いかにして定員確保を図るのか、その方策について議論する。
第 4 回 (3 月 6 日)	総括と次年度へ向けて カリキュラムおよび学生確保について、これまでの研修の総まとめを行う。 また、これまでの研修で浮き彫りになった課題があれば、それについても検討を行う。 ここで確認できた内容を踏まえ、共通理解の下、次年度へとつなげていくことの確認を行う。